

# 授業科目 NO. 406 成人看護学方法論 I (看護援助論)

## Adult Nursing I (Nursing Care)

授業の形態：講義

単位数(時間数)：2単位(30時間)

開講年次・学期：2年次・後期

必修・選択の別：必修

キーワード：成人期、健康障害、健康レベル、看護援助、セルフケア、多職種連携

### 1 金沢医科大学看護学部の到達目標 (全科目共通です)

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

### 2 学習目標

#### 1) 一般目標 (GIO)

成人にもたらす代表的な健康障害ならびに検査・治療を理解し、対象の健康レベルに対応した看護援助を学修する。また、健康障害をもつ本人のみならずその家族も対象と捉え、対象のニーズに対応するために専門性の異なる多職種との連携の重要性を理解する。

#### 2) 行動目標 (SBO) ※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部の到達目標との関連を示す。

- (1) 健康障害を引き起こす病態ならびに必要な検査・治療の特徴を身体の構造と機能をふまえて説明できる。(②)
- (2) 成人の健康レベル(急性期・リハビリテーション期・慢性期)における身体的・精神的・社会的特徴に対応した看護援助を説明できる。(②)
- (3) 対象に必要なセルフケア能力の習得に向けた看護援助を説明できる。(②)
- (4) 専門性の異なる多職種との連携の重要性と看護師の役割を説明できる。(②)

### 3 学習内容

授業の内容については、授業計画に示す。

## 4 評 価

評価項目	評価割合
定期試験成績	100%
実習成績	%
レポート	%
授業態度	%
小テスト	%
その他	%
合計	100%

(特記事項) 定期試験は第1回～第7回の講義内容と、第8回～第15回の講義内容の2回に分けて実施する。

## 5 教育担当者

科目責任者：北村 佳子

教 授 村角 直子 (成人看護学)  
 教 授 清水 玲子 (成人看護学)  
 准 教 授 北村 佳子 (成人看護学)  
 准 教 授 浅野 きみ (成人看護学)  
 講 師 金松 瑞代 (成人看護学)

## 6 教育担当者の実務経験

担当教員は看護師としての実務経験を有している。

## 7 教 科 書

- 1) 川村雅文他 (著) : 系統看護学講座 成人看護学 [2] 呼吸器、医学書院
- 2) 吉田俊子他 (著) : 系統看護学講座 成人看護学 [3] 循環器、医学書院
- 3) 吉岡成人他 (著) : 系統看護学講座 成人看護学 [6] 内分泌・代謝、医学書院
- 4) 大東貴志他 (著) : 系統看護学講座 成人看護学 [8] 腎・泌尿器、医学書院
- 5) 鈴木久美他 (編集) : 成人看護学 慢性期看護 病気とともに生活する人を支える、南江堂
- 6) 林直子他 (編集) : 成人看護学 急性期看護 I 概論・周手術期看護、南江堂
- 7) 南川雅子他 (著) : 系統看護学講座 成人看護学 [5] 消化器、医学書院
- 8) 井出隆文他 (著) : 系統看護学講座 成人看護学 [7] 脳・神経、医学書院
- 9) 飯野京子他 (著) : 系統看護学講座 成人看護学 [4] 血液・造血器、医学書院

## 8 推 薦 参 考 書

必要時、授業中に紹介する。

## 9 準備学習に必要な時間及び具体的な学修内容

1) 授業1コマにつき、事前学習・事後学習として計180分程度必要です。

以下の授業では、教科書を読み、理解を深めること。

- 1 回目の授業 系統看護学講座成人看護学 [2] 呼吸器、第6章A疾患をもつ患者の経過と看護  
①慢性閉塞性肺疾患 (COPD) 患者の経過と看護
- 2 回目の授業 系統看護学講座 成人看護学 [2] 呼吸器、第6章A疾患をもつ患者の経過と看護  
②肺がん患者の経過と看護
- 3 回目の授業 系統看護学講座 成人看護学 [3] 循環器、第5章B虚血性心疾患③急性冠症候群
- 4 回目の授業 系統看護学講座 成人看護学 [3] 循環器、第5章C心不全
- 5 回目の授業 系統看護学講座 成人看護学 [3] 循環器、第5章F弁膜症③大動脈弁狭窄症
- 6 回目の授業 系統看護学講座 成人看護学 [6] 内分泌・代謝、第6章C代謝疾患患者の看護①  
糖尿病患者の看護
- 7 回目の授業 成人看護学 慢性期看護 第V章V-5 1 慢性腎不全 (慢性腎臓病)
- 8 回目の授業 成人看護学 急性期看護 I 概論・周手術期看護 第VII章 9 生殖機能の再確立①乳房  
部分切除術
- 9 回目の授業 系統看護学講座 成人看護学 [5] 消化器、第6章V疾患をもつ患者の看護 B 胃・  
十二指腸疾患患者の看護②胃がん患者の看護
- 10 回目の授業 系統看護学講座 成人看護学 [5] 消化器、第6章V疾患をもつ患者の看護 C 腸お  
よび腹膜疾患患者の看護⑧大腸がん(結腸がん・直腸がん)患者の看護
- 11 回目の授業 系統看護学講座 成人看護学 [5] 消化器、第6章V疾患をもつ患者の看護 D 肝臓・  
胆嚢疾患患者の看護、E 膵臓疾患患者の看護
- 12 回目の授業 系統看護学講座 成人看護学 [7] 脳・神経、第5章B脳疾患①脳血管障害
- 13 回目の授業 系統看護学講座 成人看護学 [7] 脳・神経、第5章G脱髄・変性疾患②(1)パー  
キンソン病
- 14 回目の授業 成人看護学 急性期看護 I 概論・周手術期看護 第VII章 8 運動機能の再確立ー人工  
股関節全置換術 A～F
- 15 回目の授業 系統看護学講座 成人看護学 [4] 血液・造血器、第6章E②急性骨髄性白血病患  
者の看護、⑤悪性リンパ腫患者の看護

2) 最新の知見を学修するための情報へのアクセス方法や情報源は、授業内で紹介を行う。

## 10 課題 (試験やレポート等) に関するフィードバック

試験に関しては、質問をもとに解説を提示する。

## 11 履修上の注意事項

講義資料は、試験や実習で活用しやすいように整理しておくこと。

## 12 オフィスアワー等

随時訪問は可能であるが、各教員のオフィスアワー時間を確認し、事前に都合を確認すること。

村角 (murakado@kanazawa-med.ac.jp)

清水 (rshimizu@kanazawa-med.ac.jp)

北村 (kitamu@kanazawa-med.ac.jp)  
浅野 (asanok@kanazawa-med.ac.jp)  
金松 (nmizuyo@kanazawa-med.ac.jp)

## 第2学年

# 成人看護学方法論 I

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
後	1	10月07日(水)	1	講義	ガイドランス、呼吸機能障害を持つ患者の看護1：慢性閉塞性肺疾患		成人看護学	北村准教授
後	2	10月09日(金)	2	講義	呼吸機能障害を持つ患者の看護2：肺がん		成人看護学	浅野准教授
後	3	10月14日(水)	4	講義	循環機能障害を持つ患者の看護1：狭心症・心筋梗塞		成人看護学	清水教授
後	4	10月21日(水)	1	講義	循環機能障害を持つ患者の看護2：心不全		成人看護学	金松講師
後	5	10月28日(水)	1	講義	循環機能障害を持つ患者の看護3：大動脈弁狭窄症		成人看護学	清水教授
後	6	11月04日(水)	1	講義	内部環境調節機能障害を持つ患者の看護1：糖尿病		成人看護学	村角教授
後	7	11月25日(水)	1	講義	内部環境調節機能障害を持つ患者の看護2：慢性腎不全		成人看護学	村角教授
後	8	12月02日(水)	1	講義	生殖機能障害を持つ患者の看護：乳がん		成人看護学	浅野准教授
後	9	12月09日(水)	1	講義	栄養代謝機能障害、消化・吸収機能障害を持つ患者の看護1：胃がん		成人看護学	浅野准教授
後	10	12月16日(水)	1	講義	栄養代謝機能障害、消化・吸収機能障害を持つ患者の看護2：大腸がん		成人看護学	北村准教授
後	11	1月06日(水)	1	講義	栄養代謝機能障害、消化・吸収機能障害を持つ患者の看護3：胆道系および肝臓の疾患		成人看護学	北村准教授
後	12	1月13日(水)	1	講義	神経機能障害を持つ患者の看護1：脳血管障害		成人看護学	金松講師
後	13	1月20日(水)	1	講義	神経機能障害を持つ患者の看護2：パーキンソン病		成人看護学	金松講師
後	14	2月03日(水)	1	講義	運動機能障害を持つ患者の看護：変形性関節症		成人看護学	清水教授
後	15	2月03日(水)	2	講義	造血機能障害を持つ患者の看護：急性白血病、悪性リンパ腫		成人看護学	北村准教授
後		12月05日(土)	2	試験	中間試験		成人看護学	北村准教授
後		2月10日(水)	2	試験	定期試験		成人看護学	北村准教授